

3.3 生産技術開発センター研究成果発表会の案内

平成 26 年 1 月

各 位

中部大学生産技術開発センター
センター長 竹内 芳美

平成 25 年度生産技術開発センター研究発表会のご案内

標記の通り、平成 25 年度中部大学生産技術開発センター研究発表会を開催いたします。
生産技術開発センターは産学の共同研究を推進するための核となる組織として発足しております。
今回は 3 件の共同研究の成果を発表いたします。併せて、超精密マイクロ加工研究会(主査：鈴木浩文教授)とタイアップし、斯界の専門家による特別講演を 4 件予定しております。

多数の皆様方のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

記

〔開催日時〕 2014 年 2 月 20 日 (木) 13:00~17:30

〔会 場〕 中部大学 7 号館 3 階 ファカルティールーム (〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200)

〔会 費〕 無料

〔プログラム〕

13:00 センター長挨拶

13:05 特別講演：「離散的形状表現手法を用いた高精度非球面光学素子製造支援技術」

理化学研究所 森田 晋也 氏

多数回の試作補正を必要とする非球面光学素子の製造工程の改善のために、成形による形状誤差および内部屈折率の不均一を考慮した高精度かつ高速な光線追跡シミュレーション手法を開発し、その効果を検証した。

13:50 特別講演：「超音波援用ホーニング加工」

多賀電気株式会社 浜田 晴司 氏, 中部大学 水谷 秀行 氏・稲崎 一郎 氏
従来の円筒のホーニング加工において、半径方向の超音波振動発生装置を開発し付加し評価を行い、その高精度化の可能性を示した。

14:35~14:45 休 憩

14:45 特別講演：「塑性変形型ラピッドプロトタイピングシステムの開発」

金沢大学 理工研究域 機械工学系 教授 浅川 直紀 氏

板金製品は多くは金型プレス加工で製造されるが、試作品や多品種少量生産には不向きで、熟練作業による手作業に頼っている。本研究ではこのような加工の自動化を目的としている。

15:30 特別講演：「最新の小径エンドミルとその加工事例」

日進工具株式会社 岡田 浩一 氏

難削材に対するエンドミル加工においても研削並みの精度が近年要求されており、それらに対応できる、超硬、cBN、ダイヤモンドコーティング、ダイヤモンド製エンドミルの開発を行っているので、最新技術、製品について紹介する。

16 : 15~16 : 25 休 憩

16 : 25 研究報告 : 「単結晶ダイヤモンド製マイクロフライス工具による超硬金型の超精密切削」

中部大学 鈴木 浩文 氏, 日進工具株式会社 岡田 浩一 氏

16 : 45 研究報告 : 「切り屑粉塵吸引機構をもつ環境対応多軸複合加工機の開発」

中部大学 竹内 芳美 氏, DMG 森精機株式会社 小田 陽平 氏

17 : 05 研究報告 : 「次世代 X 線望遠鏡用非球面金型の加工」

中部大学 難波 義治 氏, Anthony Beaucamp, Zeeko Ltd. Richard Freeman 氏

17 : 25 閉会挨拶

鈴木 浩文 氏

〔会場案内〕 JR 中央線神領駅(快速は停車しない)北口より中部大学行のスクールバス(料金 200 円)で約 7 分。

JR 中央線高蔵寺駅(快速も停車する)より中部大学行名鉄バスまたはタクシーで約 10 分。
東名高速道路春日井インターチェンジより国道 155 線を東(瀬戸方面)へ約 1km, 左手の丘の上。

〔定 員〕 80 名

〔申込方法〕 E-MAIL にて『お名前, 勤務先・部課名・役職, 住所, 電話番号』をお知らせ下さい。
(下に申込フォームがございます)

〔連絡先〕 中部大学生産技術開発センター (中部大学工学部事務室)

E-MAIL : kogakubu@office.chubu.ac.jp TEL : 0568-51-4319 FAX : 0568-51-3833

以上

=====

生産技術開発センター研究発表会参加申込

開催日 : 平成 26 年 2 月 20 日

お名前 :

勤務先名 :

部課名/役職 :

住 所 :

電話番号 :

E-MAIL :

=====